



北浦とながれ川の環境を守ろう

～ありがとうのつながりを大切に～

鹿嶋市立豊津小学校 5年生



もくじ

- 1 学習を始めたきっかけ
- 2 豊津小学校と北浦、ながれ川
- 3 豊津小のビオトープ
- 4 ありがとうのつながりを大切に
- 5 霞ヶ浦の今と昔
- 6 自分たちにできること①エコたわしの推進
- 7 自分たちにできること②エコ石けんの推進
- 8 自分たちにできること③環境保全看板の制作
- 9 今後の課題

1 学習を始めたきっかけ

わたしたちが通う茨城県鹿嶋市立豊津小学校は、すぐ側に北浦があり、鳥や魚などたくさんの生き物と出会うことができます。また、そこにつながる「ながれ川」があり、夏にはホタルを観察することもできます。毎年開かれるホタル見学会は、公民館主催の人気行事です。しかし、最近ではホタルの数が減少しているそうです。この原因をさぐるため、前の5年生が水質調査をしたところ、水質が悪化していることが分かりました。そこでわたしたちは、昨年の5年生の学習を引き継ぎ、ホタルが住む環境を守る活動を考え、実践しようと考えました。



← ながれ川 →



ゲンジボタル(「Google」より)

2 豊津小学校と北浦、ながれ川

北浦とは、霞ヶ浦の一部で、西浦と北浦で霞ヶ浦である



豊津小学校は、霞ヶ浦、北浦と、ながれ川が面しています。



ながれ川

3 豊津小学校のビオトープ

豊津小学校には、三年前に改良されたビオトープがあります。そこでは、霞ヶ浦・北浦から絶滅しそうな水草「アサザ」を育て、守っています。地元のメダカ(黒メダカ)もいます。また、季節ごとに何種類ものトンボや鳥を観察することができます。様々な生き物を、みんなで観察したり調べたりしています。

5年生は、ビオトープの藻を取ったり、伸びた草を切ったりして、きれいにしています。



4 ありがとうのつながりを大切に

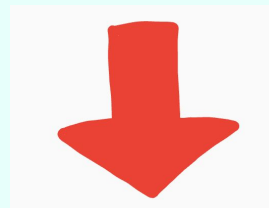
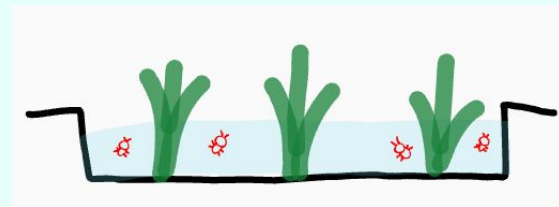
例えば、カエルが田んぼで虫を食べる

☆人が作る田んぼには虫がいてカエルが人に『ありがとう』

||

害虫がいなくなる

☆カエルが田んぼの虫を食べてくれるので人がカエルに『ありがとう』



5 霞ヶ浦の今と昔

わたし達は、霞ヶ浦湖上体験に参加し、霞ヶ浦の透明度や、プランクトンの種類について学びました。湖上体験を行ってくれた方に「昔は飲めるくらいきれいだったのに、今は飲めない。人口増加や工業・農業の発展とともに、だんだんと汚れてしまった。」と教えてもらいました。今のおじいちゃん世代も、「昔は泳げた。」などと言っていました。よごれの原因の一つである「生活排水」のよごれをなるべく少なくすることが必要だと感じました。

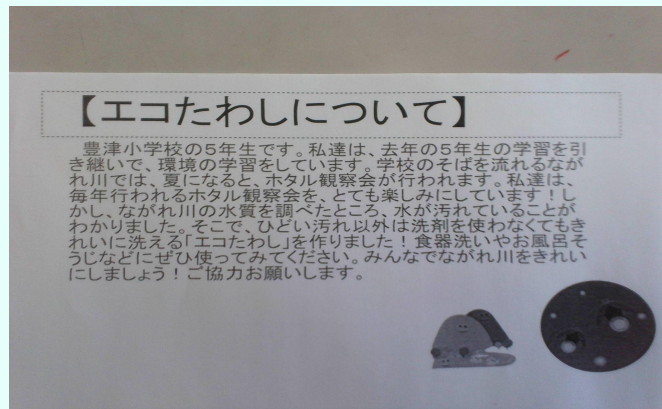


6 自分たちに行きできること①エコたわしの推進

ながれ川の水を少しでもきれいにするために、環境にやさしいエコたわしを作りました。そのエコたわしは、豊津まつりで販売して地域の人や家庭でも使ってもらうようにしました。このエコたわしはアクリル毛糸で作りました。洗剤もあまり使わないし、水もあまり使わないので節水になるし、環境にやさしいので、とても便利です。たくさんの方に使ってもらえるように、ラジオ「FMかしま」でも販売日時をお知らせしました。その結果、完売することができました。



完成したエコたわし



たわしと一緒にわたした手紙



FMカシマで販売のお知らせをしました



地域の方がたくさん来てくれました

7 自分たちにできること②エコ石けんの推進



エコ石けんは、霞ヶ浦を汚さずに、洗える便利な、石けんです！！このエコ石鹸は、豊津公民館の人に教わりながら作りました。最初は、難しいかなって思ったけど、とても簡単で、楽しかったです。また、時間があったらやりたいです。最後の石鹸を切るのもまっすぐ3等分に、きれいに切らないといけないので、すごく難しかったです。ときどき失敗してしまう事もあったけれど、きれいに出来て良かったです。石鹸の原料と、使い方を紹介します！石鹸の原料は、食用廃油、EMぼかし液、苛性ソーダ、天然ラベンダーオイル、尿素です。次に、使い方です。通常の手洗石鹸と同じようにも使えますが、水に溶けだした液をスポンジにつけて使うこともできます。また、溶け出した水を薄めて、台所洗剤の容器などに入れて使います。皆さんも作って、使ってみてください。



8 自分たちにできること③環境保全看板の掲示

「ホタルを守るために」というメッセージを伝えるために、ポスターを作成しました。今後、ながれ川に新しく看板として設置する予定です。地域全体で豊津のホタルを守っていきましょう。



↑
今までの看板



新しい看板を作成中⇒

9 今後の課題

僕達、私達ができそうなことに取り組み、様々なものを作りました。引き続き一人一人が自然を大切にすることを意識し、北浦やながれ川をきれいにし、学校・家庭の中や地域でもできる限りのことをしていきたいです。

また、この学習を次の5年生にも取り組んでもらい、さらに深めていってほしいです。



✽ 次の5年生に引き継ぐこと ✽

- ・ビオトープの管理
- ・ながれ川や北浦の水質調査
- ・環境保全活動の呼びかけ
 - (一人一人ができること)
 - (学校全体でできること)
 - (地域全体でできること)